

「未来の下諏訪教育を語る会」第1分科会

第1分科会 学力向上・小中一貫教育

分科会テーマ「下諏訪町の子どもたちにつけたい学力と学校・家庭・地域の役割」

基調提案

- (1) つけたい学力（今、求められている学力）
 - ・自ら進んで解決方法を考え、必要に応じて周りに伝え、協力して解決していく力。



(2) これまでの取組

《小中一貫した授業改善をめざして》

- ①ユニバーサルデザインの授業：学びにくさのある子どもも「わかる授業」づくりで
- ②町4校合同研修会：「上智大学総合人間科学部教授 奈須 正裕先生の講演会」を受けて、小中合同教科会（5月）。小中2校合同研修会の実施（8月、2月）

《小中一貫した地域連携をいかして》*地域との関わりと学力は、正の相関関係があると言われています。

- ①放課後学習支援 ②読み聞かせ
- ③地域連携合同会議（5月）小中合同で児童・生徒と区長、分館長、健全育成会の方々と懇談。地域行事へ積極的な参加ができる環境づくりとして、生徒も役割を担えるようにしたり、地域で小中学生が活躍する場や交流する場をつくったりしていただいている。

《小中一貫した生活づくりをめざして》

- ①『家庭学習の手引』を町学力向上委員会で作成し、中学校説明会での活用や家庭配布。
- ②リーフレット『携帯・スマホ・ネットの安全利用のすすめ』を作成し、小学高学年、中学へ配布。
- ③『めざせ！元気なしもすわっ子』の推進・・・早寝・早起き・朝ごはん など

グループ討議での話題(一部掲載)

- 小中4校の交流をもつことが人と人とのつながりを広め、町の将来の人材育成につながるのではないかと。地域で学ぶ機会を作っていくことが学力向上につながっていくのではないかと。
- 外や自然の中で幼い頃から遊ぶことが大事。人とかかわりなど学ぶことができる。地域で遊べる環境を整えることは難しいが、砥川など素晴らしい環境がある。
- 地域の方々の出前授業などを企画すると楽しめて、学力向上につながるのではないかと。
- 親の生活が不規則になり、家庭はゆとりがなく、情報過多である。中学生の生活が忙しい。
- 下諏訪町は、小中で学習集団が変わらない。小中一貫も大事だが、その人間関係からはずれてしまった子どもは苦しいのではないかと。
- 宿題を出すのは学校だが、家庭の支援が必要。 ○子どもは、挨拶をよくしている。
- 時代の流れに巻き込まれている子どもは悪くない。子どもが社会の変化に対応できるようにするには、学校・家庭・地域の連携が必要である。

感想 (アンケートより)

■小中一貫教育については、形式上は殆ど問題ないと思われるが、「おいてけぼり」の児童生徒の対策が必要。■もっと保護者の参加を増やすと、様々な意見が聞ける。■この会は、継続して欲しい。



共に考えよう 未来の下諏訪教育

シンポジウム・10月21日（水）午後7時～

子どもの社会的自立に向けての環境づくりは
どうあったらよいか。
—学校と地域社会の望ましい連携の在り方を求めて—

「未来の下諏訪教育を語る会」実行委員会では、少子・人口減少社会が進行する中、次代を担う子どもの社会的自立に向けての環境づくりはどうあったらよいかを、テーマに掲げてシンポジウムを開催しました。



およそ120名の皆さまにお集まりいただき、小沢教育長の基調提案のあと、4つの分科会に分かれて、学校と地域社会の有機的な連携が一層求められる中、活発な意見交換がなされました。

小沢教育長の基調提案(抜粋)

社会環境の変化は子どもの発達や地域社会にどのような影響をもたらすか、考えてみました。例えば、

◇子どもへの影響◇ (家庭・学校)

- ・子どものコミュニケーション力の低下
- ・基礎学力や体力、心の豊かさへの課題
- ・社会性や人間関係力の低下
- ・規範意識、耐性等の減退 等

◇地域への影響◇ (地域)

- ・地域の伝統文化の伝承、継続への影響
- ・地区活動の担い手不足
- ・地域連帯感の形成への課題
- ・地区防災等への対応 等

◇こうした状況下、学校に対して地域は「学校運営への参画」「学校支援」への更なる充実を、一方、学校は地域活動に対して、子どもの積極的な参加・参画を奨励し、推進していく姿勢が求められているように思います。

「地域の子は地域で育てる」をキーワードに、学校地域連携による「人材の育成」を、そして子どもたちが将来、この町に住みたいと思えるような「魅力ある町・地域づくり」が必要になってまいります。

◇当町として願う社会的自立の姿とは：社会の一員としての自覚をもって—

- ・自主：自己を生かす能力
- ・創造：自ら課題を見つけ解決する態度
- ・協調：他と共に生きる喜び
- ・実践：思考力、判断力、行動力を育む

分科会においては、「人材育成」と「地域の活性化」促進に向けて、今何が必要で何をしなければならぬか、また、そのための相互協力の仕方はどうあるべきか等、皆様からのご意見・ご提言をご期待申し上げます。

発行 下諏訪町教育委員会
編集 生涯学習
編集委員会

〒393-8501
長野県諏訪郡下諏訪町4611-40
(下諏訪総合文化センター内)
☎ 0266-27-1111(内線718)
FAX 0266-28-0131
E-mail=syougai@town.
shimosuwa.lg.jp